

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成25年10月 1日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670103920
法人名	社会福祉法人 陵風会
事業所名	グループホーム西谷山
所在地	〒891-0116 鹿児島市上福元町5604番地 (電話) 099-260-1343
自己評価作成日	平成25年10月1日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目48番13号
訪問調査日	平成26年2月26日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・共同生活において明るい家庭的な雰囲気の中で、日常生活のお世話及び生活リハビリを行うことにより利用者がその有する能力に応じた生活ができるよう明るい笑顔の絶えない雰囲気作りを念頭において運営を行っています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

当ホームは、鹿児島市谷山地区の山手に位置し住宅建設が進行中の住宅街で、近隣には複数の保育園や幼稚園、学校、グループホーム、市営住宅などがある。建物の外観は洋風の2階建てであるが、室内は木調で木のぬくもりを感じさせる。利用者は、1階と2階の居住空間で家庭的な環境の中、共同生活を送っている。年々、ホーム利用者も重度化してきており移動は車いすといった方も増えてきているが、本人の主体性を基本としたケアを推進しており、利用者の表情も穏やかで活気があり笑顔が印象的なホームである。地域行事や清掃活動への参加、小・中・高校生の職場体験、ボランティアの受け入れなど地域交流も積極的におこなっている。母体法人が協力医療機関であるため、医療連携が密にできており、利用者や家族の安心感に繋がっている。また、職員も質の高いサービス提供に努められるよう個人のスキルアップを目指し内部研修を始めとした研修参加や勉強会などに力を入れ資格取得へも積極的である。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	事業所理念を作り、毎朝朝礼後に職員一同理念を唱和することにより意識付けし、日常の介護に活かすよう努力している。	「家庭的な雰囲気の中であなたの思いを大切に楽しく過ごせるようにお手伝いします」という理念を朝礼後に唱和して共通認識を図りケアしている。また、理念はリビングやスタッフルームに掲示してある。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会へ加入しており、地域の行事（十五夜・奉仕作業など）に参加し、交流を図っている。近隣の方々とは、気軽に声かけし、普通に接している。	新興住宅街に位置し、町内会にも加入している。近隣との交流はあり、地域の行事（十五夜・奉仕作業）に参加している。散歩時は、挨拶するなどして交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	小学生の学習、中学生の職場体験学習の受け入れ又、人材育成の貢献として、高校生の実習など積極的に受け入れている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	サービスの内容や現状報告、外部評価についての説明や結果報告を行ない行政・地域の方々の意見を聞き、サービスの向上に活かしている。	家族へは交代で会議への参加を依頼している。家族とのコミュニケーションを重視し、気楽に参加してもらうような声かけに工夫を凝らしている。また、消防署職員にも年1回参加してもらい、避難訓練も併せて実施している。ユニットごとに家族会もあり、年1回開催している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	市町村とは、常に連携を図り、現状報告や相談や助言・指導を頂き、問題解決に取り組んでいる。	行政職員との関係性もよく、日頃から連絡や相談をしている。担当者からは、感染症の状況報告やその他必要な情報などについて、詳細な連絡がありサービス提供やケアに活用している。また、介護相談員を年1回受け入れている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束マニュアルがあり、職員は定期的に行う勉強会等で身体拘束の有無を確認するとともに、日々の介護の中で勉強しており、具体的な行為を理解している。	玄関は施錠はせずに自由に出入りができるようにしている。2階への移動はエレベーターであるが、安全を第一に考えて日頃は施錠している。職員は、「ゆっくり、ゆったり」を心がけたケアに取り組み身体拘束に関する内部勉強会もしている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	認知症高齢者の身体的・精神的な理解を深めるための勉強会を設けている。入浴時や更衣介助の時など身体確認を行ない、見過ごされることのないように注意を払い、全員で防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	定期的に学ぶ機会を設け、活用できるように支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入居時・退去時必要時には、十分な説明を行ない、ご理解の上納得を得られるように図っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	第三者委員などに相談できるように説明し、玄関受付に意見箱も設置している。また、利用者の意見・不満・苦情等に傾聴し納得のいく解決法を探している。ご家族へも来所時や便りなどを利用し、声を聴けるように心がけている。	家族には、電話や通信誌「西谷山通信」を通じて運営に関する意見を拝聴し、年1回アンケート調査も実施して要望や希望をサービスに取り入れるようにしている。家族とはコミュニケーションを図るよう心がけ常に対話を持つ機会を設けている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	職員会議・朝礼・カンファレンスにて意見を交換し、運営に反映している。また、そこで出た問題点など職員全員で話し改善している。又、職員より日頃から意見や要望等を言いやすい雰囲気作りを行なっている。	朝礼や職員会議、カンファレンスなどで職員から意見や提案を聞く機会を設けている。年1回、職員にアンケートを取っており本部が管理している。管理者は日頃から職員とのコミュニケーションにも力を入れている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	和気あいあいとした、働きやすい雰囲気作りに努めている。また、職員の資格取得に向けた支援を行うとともに、職場環境・条件の整備に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修会などに積極的に参加し、サービス及び知識の向上に取り組んでいる。新入職員に対しては、入職後研修も行い、介護の経験が無くても職員間で協力し合い経験のある職員が育成に努めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>定期的に研修会に参加し、交流の機会をつくり、共通の悩みや質の向上に向けて情報交換など行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用者本人を始め、ご家族・関係事業者から生活歴や傷病、自宅での過ごし方など詳細に情報を集め、本人様の求めている事や不安を理解し、共有する事によって安心を確保する為の関係作りに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族からの相談には時間をかけ、入所に至るまでの経緯やご家族の意向、困っている事、今必要なことなど聴き、受け止める努力をし、家族が安心できる関係作りに努める。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人や家族が必要としているサービスが困難なケースも相談を受け必要に応じて各関係機関に相談し、調整等対応している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	生活のあらゆる場面において、出来ること・出来そうなことを一緒に行ない、共に支え合う関係を築く努力をすると共に穏やかな生活が出来るような場面作り・声かけを行なっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会・家族会・行事などに参加して頂き、日頃の暮らしの様々な出来事を伝え、家族と一緒に情報を共有し支えている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族の都合にも配慮しながら協力を頂き、面会・外出・外泊の支援をもらっている。馴染みの方々の訪問の際には、くつろげる場所を提供し、ゆっくりと過ごして頂けるよう支援に努めている。	来訪者には、利用者とはゆっくりくつろいでいただけるよう配慮している。家族と美容院や墓参りへ行くなどの外出や外泊を勧めるとともに職員は自宅訪問ができるよう支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	普段の生活から利用者同士の関係を把握し、会話やレクリエーションなど楽しむ事が出来るよう、座席の調整やグループ分けを行ない、孤立することがないように支援している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	次のサービス事業所に情報を提供したり、退居後も見舞いなどに出掛け、必要に応じて相談や支援に努め継続的な付き合いができるように心がけている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	常にご本人のご意見を踏まえたケアを行うようにしている。本人の意向が直接聴き取り難い場合でも、しぐさや言動などからご本人の意向を考えケアに取り入れられるように考えている。	利用者の言葉、しぐさ、表情などから意向を汲み取り本人本位に支援している。意思疎通が困難な方には、コミュニケーションやスキンシップを図るよう心がけている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	一人ひとりの個人情報を集約し、分析を行ないカンファレンス等で全員が把握できるように取り組んでいる。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者の日常生活動作や創作活動など、日々の活動の様子を見守りながら、現状把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	職員会議や申し送りなどで、本人の課題や必要な援助を検討する機会を持ち、家族の意見も取り入れながら計画を作成し、主治医の意見書も参考にし作成している。モニタリングも定期的に行い、個別性のある、一人ひとりのニーズに合わせた介護計画作りに努めている。	職員からもアセスメントに係る情報収集をおこない介護計画を作成している。モニタリングは月1回実施し計画は、随時見直している。家族へは、面会時に説明し同意をもらっている。個別性のある本人らしい生活の実現に向けた計画作成に努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録にニーズに沿った内容を記録している。また気づき・体調不良の変化も記録し、食事・水分量・排泄につき等も把握し状態変化にその都度対応している。申し送りなどでも情報の共有に努め介護計画の見直しに活かしている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人・家族の状況や要望に応じ、マッサージや余暇活動・外出援助等多岐にわたって援助できるように努めている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	訪問美容サービスなど活用している。包括支援センター・民生委員など協力を得ながら支援を行っている。特にボランティアの皆様による踊りなど楽しませて頂いている。又、介護相談員受け入れも行ない支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医と連絡を密にし、状態の変化など対応している。又、必要に応じて往診を行って頂いている。本人や家族の要望などある時は、家族の協力のもと希望する医療機関受診をお願いしている。	定期受診、訪問診療、訪問歯科診療を受けて健康管理している。他科受診は家族に依頼している。母体法人は医療機関であり、夜間や緊急時の対応が24時間体制で連携ができています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護やかかりつけ医との連携を密にとり、日々の健康管理や定期健診・必要時の受診など適切に対応している。必要時には、いつでも24時間対応して頂いている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時は安心して過ごしてもらう為、見舞いや家族の相談にもより本人の状態を見ながら、病院関係者とも情報交換し利用者の不安の軽減に努めるとともに、早期の退院が出来るように支援している。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	利用者・家族の気持ちを汲み取り、主治医を含め状況の変化に応じて話し合う機会を設けている。今後もより一層家族との連絡・医療機関や他の各協力機関との連携等も深めながら本人の状態に合わせた支援を行っているよう取り組んでいきたい。	医療行為が常時必要になった場合においては、家族や主治医、職員と話し合いを持ち今後の対応を検討しているが、原則ホームでは看取りはしていない。利用者が入院された場合は、入院先に出向き情報収集をおこない、主治医と面談し家族と相談の上、でき得る限りホームでのケアを配慮する方針である。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時や事故発生に備えて、応急手当など研修を受講している。また、緊急時のマニュアルもあり、いつでも見られるように掲示している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害時対応のマニュアルを作成し、定期的に避難訓練・消火訓練・夜間想定訓練を行っている。非常食の備蓄もしており、入居者や地域の方々の防災の一助けとなれるように努めている。	避難訓練は、年2回夜間想定で実施しているが、地域住民の協力は得られていない。しかし、毎回訓練の度に実施の声かけをしている。非常階段は3人が横に並べる程度の広さが確保されている。水や缶パンの備蓄も確保されている。	両隣民家に隣接しているため火災を想定した訓練は、火元が隣家や近隣からだった場合を想定した訓練も必要と考える。消防署に指導をもらい今後の避難訓練の在り方を見直したい。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者一人ひとりの尊厳を重じ利用者の誇りやプライバシーを損ねない対応や個々に合わせた言葉使いを心がけるように勉強会やカンファレンス等で全職員に周知している。	尊厳やプライバシーについては、勉強会や職員会議などで周知したうえで、日頃から特に排泄、入浴、更衣などのケア実施時は、言葉使い（方言）や対応に十分に注意しながら支援している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の中で、利用者の言葉・行動等により、希望・関心・嗜好を見極め、利用者が選びやすい場面を作ったり、利用者の意思を尊重するように努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者のペースに合わせて生活ができるように、一人ひとりの体調に配慮しながらその日、その日の保隠忍の気持ちを尊重して出来るだけ個別性のある支援を行なっている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	訪問美容を活用し、状況に合わせて髪染め、化粧など工夫している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員も一緒に同じテーブルで食事をし、楽しくゆったりと食事を頂いている。個々の好き嫌いや食事形態等を把握し心配りをしている。又、利用者と一緒に準備や食事の後片付けをしている。	家族の差し入れは、菓子程度にして頂いている。月1回外食を兼ねた戸外レクを計画実施。食事の準備やお茶入れ、下膳など利用者の負担にならない程度協力をもらっている。また、もやし根取りなどの調理の下ごしらえを協力できる方にはお願いしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人一人の食事・水分量・体重を記録し職員が情報を共有している。入浴後は必ず水分補給を行い、一人一人の状態に応じて、飲み物を変え補水に努める工夫をしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後見守り・介助にて利用者の力量に応じて口腔ケアを行っている。又、訪問歯科により、義歯洗浄や口腔ケアの重要性や技術等について指導や助言等して頂いている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個々の排泄パターンを把握し、トイレ誘導や介助を支援している。尿意のない利用者でも時間を見計らって誘導する事により、トイレで排泄出来るように支援して、ご本人の意思を尊重し、自立に向け支援している。	排泄チェック表を活用し、排泄リズムを整えられるよう食事の摂取量にも気を配っている。昼間はなるべくトイレで排泄し、夜間は睡眠を重視しパット交換やポータブルを活用するなど臨機応変に対応している。尿・便意のない方については、さりげなく声かけしてトイレ誘導し清潔保持できるようケアしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事の工夫や散歩・軽体操等により自然に排泄できるように取り組んでいる。必要に応じて、主治医に相談し快適な日常生活が送れるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴は週三回行っているが、利用者の状態に応じて行っており、希望があれば入浴日以外にもその都度対応している。	入浴の曜日は固定せず必要に応じて入浴の支援をおこなっている。季節に応じて入浴が楽しめるようゆず湯なども毎年定例化して利用者の楽しみにも繋がっている。入浴をためらう利用者もいるが、タイミングを計りながら誘導しいつも「気持ちよかった」と感謝の言葉をもらっている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人一人の状態に応じて日中の活動などへ参加して頂き、夜間ゆっくり休めるように支援している。昼食後の昼寝等身体的に無理がない程度で自由にとってもらっている。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の目的や副作用・用法・用量について理解し、変更があった場合も申し送りノートや日誌で確認を行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	その人にあった役割や楽しみが何であるかを把握し、生きがいにつながるように支援している。又、園芸や料理・手芸その他の活動の中でお一人おひとりの力を発揮できるような場面作りをこころがけている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	一人一人の体調や天候をみて、近隣への散歩や月一回戸外レクリエーション（外食）へも出かけ、季節を肌で感じてもらい心身の活性につなげるよう支援している。	天候や体調を見ながら近所を散歩したり、月1回は外食に出かけている。家族の協力ももらい外出を計画して、花見やショッピング、ドライブなど遠出もしている。ホームには、プランターにトマト、なす、きゅうり、ブロッコリー、水菜などの野菜を栽培し、利用者が水やりや追肥などしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	ほとんどの方が事業所で管理している。自己管理している方は、定期的に確認し、家族の面会時に点検を行っている。		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	希望する利用者には、電話や手紙の支援を行っている。遠方に住む家族からの電話にも、本人がゆっくり話すことができるように支援している。		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>玄関ホールには、季節の花を飾るなど清潔さを保つよう毎日掃除し、また、湿度・温度・換気などの環境にも考慮し、居心地のいい環境作りをしている。</p> <p>又、カレンダーや壁飾り等季節に応じて一緒に作り、施設内においても季節感を味わえるよう工夫している。</p>	<p>共用空間には、畳のスペースやソファがあり、好きな場所でのんびりくつろげるよう配慮されている。各ユニットごと室内にいても四季を感じることができるよう職員がレイアウトを工夫して空間の演出にも余念がない。</p> <p>玄関ホールにも季節の花々が置かれている。ホールや廊下には利用者の写真や作品が彩る。建物外観と異なり和風の落ち着きを感じる共用空間である。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	自分の好きな場所やソファ、テーブルなどで利用者同士で思いのまま自由に過ごして頂ける様に気配りしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室には、ご家族の写真・ご仏壇・ご位牌他な馴染みのある物を置いたりして、居心地良く安心して生活できる環境作りに工夫している。</p>	<p>木製のベット、整理タンス、洋服掛け、クローゼット、洗面台が設置してある。家族写真や本人の使い慣れた調度品、仏壇や神棚を持ち込む利用者もいる。職員は、転倒防止を念頭に室内の整理整頓や掃除をして安心して暮らせるよう配慮している。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>全フローアバリアフリーであり、廊下や風呂場等動線に合わせた手すり等の工夫がされ、安全に配慮されている。また、利用者の特性に合わせて戸惑い混乱が生じないように、目印や表札などを手作りし設置している。</p>			

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
		○	1 ほぼ全ての利用者が

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
			1 ほぼ全ての利用者が
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
			1 ほぼ全ての利用者が
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
			1 ほぼ全ての家族と
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
			1 大いに増えている
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
			1 ほぼ全ての職員が

67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない